

日本共産党

京都市会議員

やまね
智史



大型開発優先より 生業・暮らし・福祉 充実を



1980年生まれ。龍谷大学卒。京都市会議員3期目。若者学生支援、文化スポーツ政策、オーバーツーリズム対策、北陸新幹線延伸問題等で論戦。京都サンガ議連副会長。

市長・副市長と直接対決! #京都市政を可視化する

子ども医療費無償化は
今すぐ実現可能!

「子ども医療費を18歳まで無償化」に必要な財源は年間11億円。京都市の単年度収支は2022年度77億円黒字、2023年度88億円黒字。その気になればすぐにでも実現できます。

ところが京都市は、「市独自で進めると府市協調に亀裂が入るかも…」と後ろ向き。子どもの命を守るために京都市ががんばることでなぜ京都府との関係に亀裂が入るのか？府市協調とはその程度の関係なのか？市長総括質疑で追及すると、市長も副市長も「関係が悪くなるということでは…」と言い訳に終始。

京都市がやるべきは、府の顔色をうかがうことではなく、「お金の心配なく病院に行きたい」という市民の切実な声に応えることではないでしょうか。これからも求め続けます！



市長総括質疑(10月31日)

学生のみなさんと
「学生支援」充実求め京都市へ申し入れ



学費無償化申し入れ

現場主義で議会動かす

万博より 被災地支援を

4月と7月に能登半島支援へ。仮設住宅を訪ね、被災者のみなさんへヒアリング。行政職員が削減され被害の実態さえつかめていない状況を目の当たりにしました。京都市でも市民に身近な区役所や公共施設の充実が必要です。



仮設住宅訪問

大阪万博に子どもたちを 参加させるな

建設費膨張だけでなく、ガス爆発の危険や熱中症対策の不十分さなど、問題山積の大・関西万博。子どもたちを危険にさらすことは許されません。学校遠足の行き先としないよう強く求め、教育委員会も「強制ではない」と答弁しました。



万博会場視察